

P T A 活動と分離

基金集金

郡小を愛する会 会則を改正

茨木市立郡小学校のP T A役員らでつくる「郡小を愛する会」が郵便局の簡易

の指導で、P T A活動と明確に分離させた、と説明した。

購入したほか、約四百万円の基金を積み立て同小に保管させ、集金方法と使途の不明りようさが問題となっていた。

保険の団体支払い制度を利用し、郵便局から支払われる割引金で学校備品を買ったり、慰安旅行したりしていた問題で、同会は十六日までに会則を改正、P T A役員が会の役員を兼ねることやP T A地区委員に集金を強要することなどをやめた。

この日の市議会本会議で山下慶喜議員(市政クラブ)の質問に森本景文社会教育部長が明らかにした。森本部長は「かなり以前から地区委員が集金に当たっていたようだ」とし、市教委